



資料 2

# 各圏域別の状況について (西多摩)

東京都地域医療構想アドバイザー

一橋大学 経済学研究科

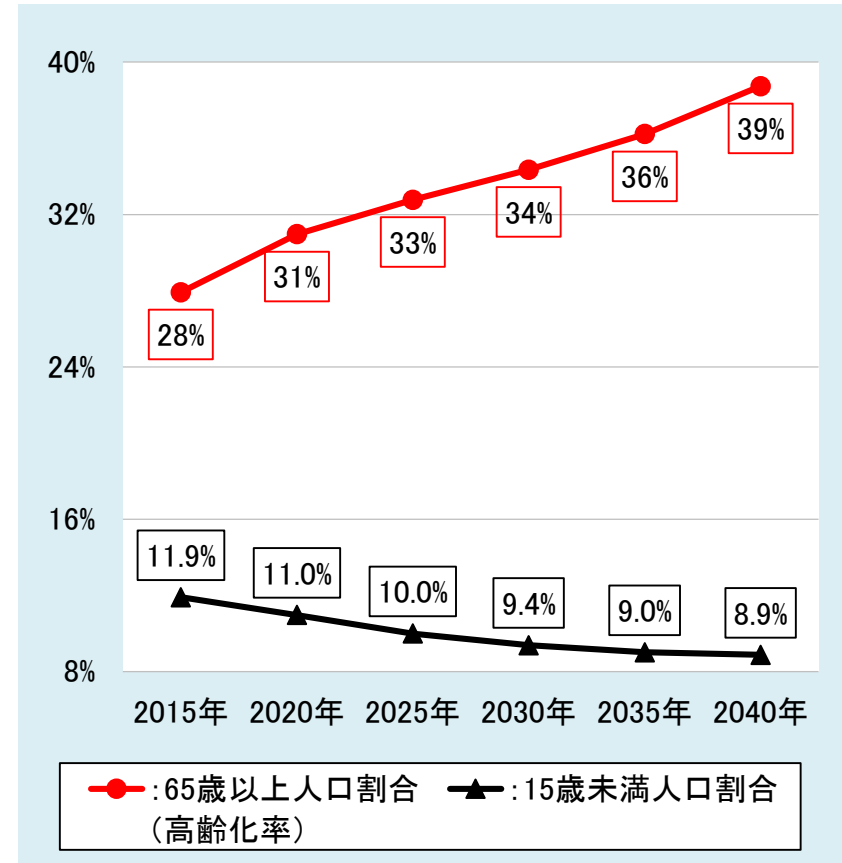
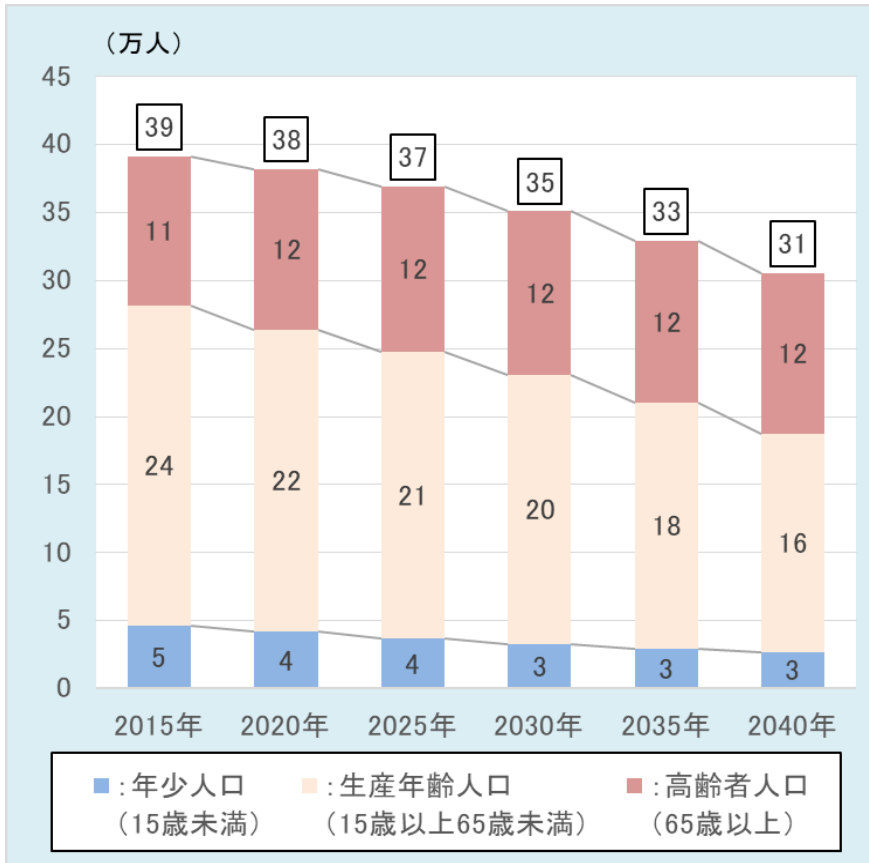
高久 玲音

高橋 雅生



# 人口動態

- 人口が39万人から31万人に減少
  - 高齢化率：31%（2020）→39%（2040）



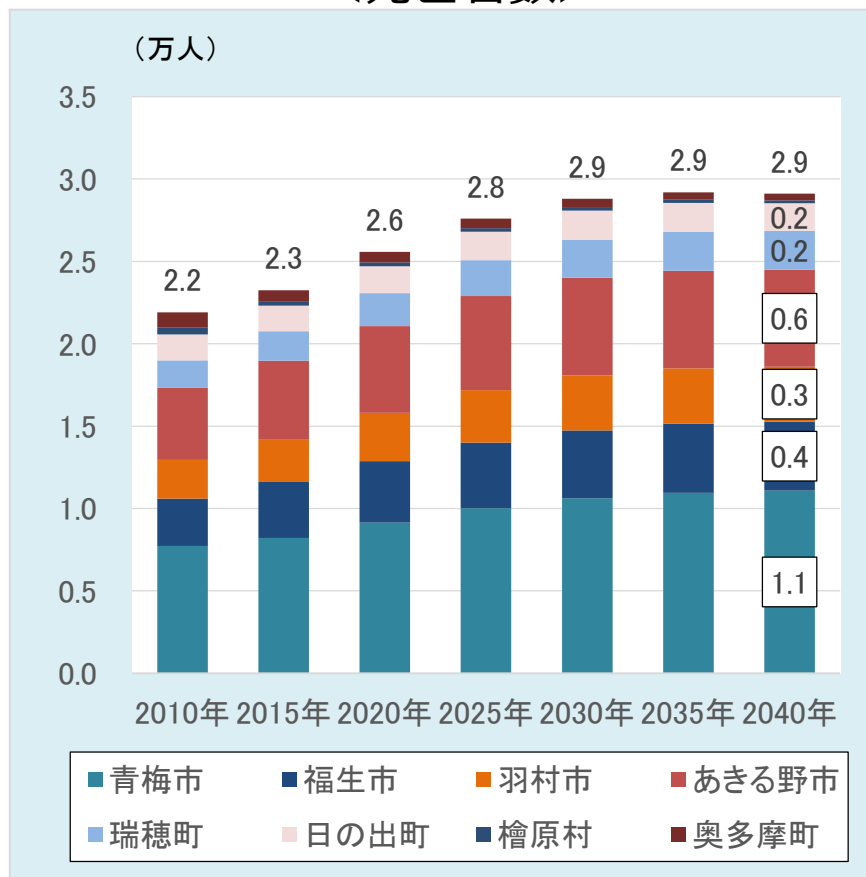
(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)



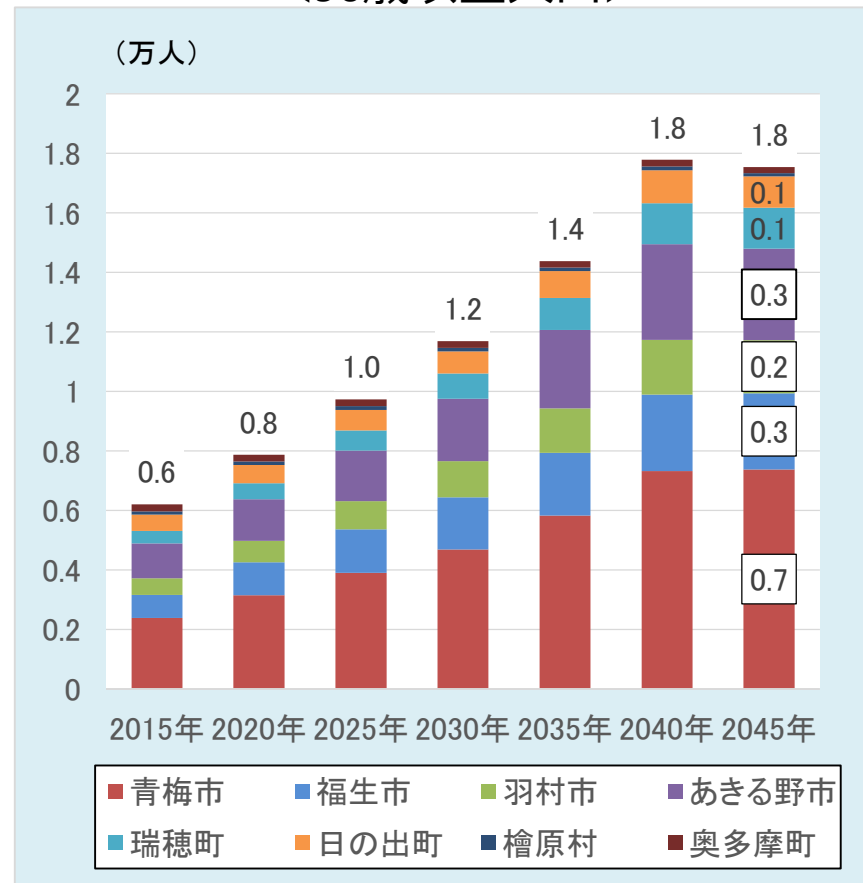
# 超高齢化の動向

- 死亡者数、90歳以上人口も増加

<死亡者数>



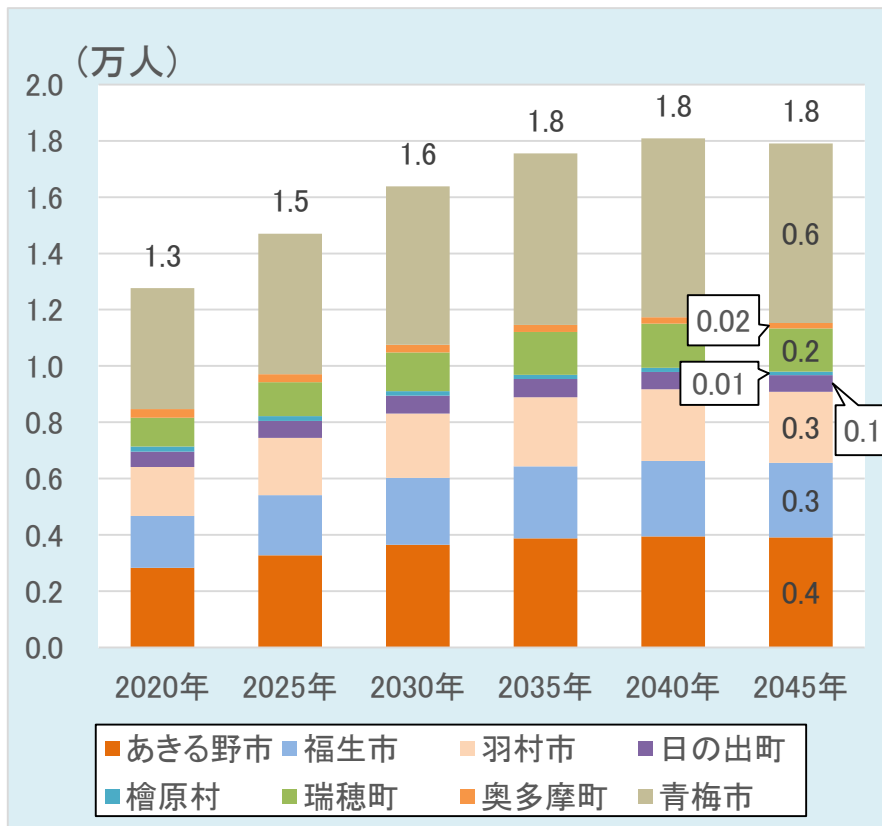
<90歳以上人口>



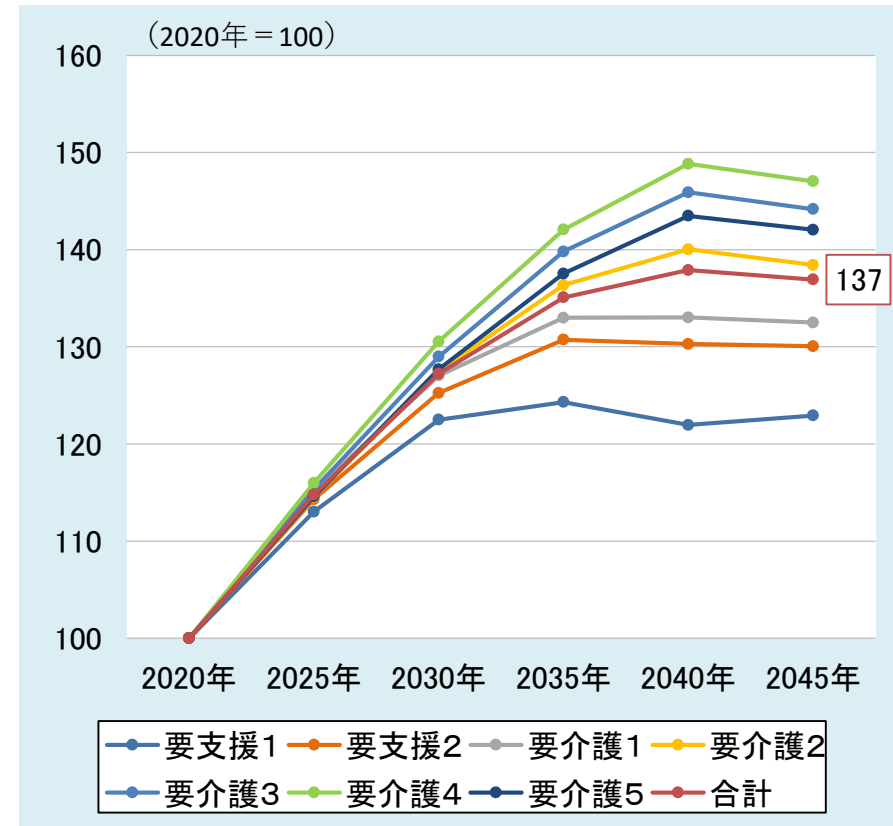
# 要介護認定者数の将来推計

- 2040年の要介護認定者数は37%増

＜区別要介護認定者数＞



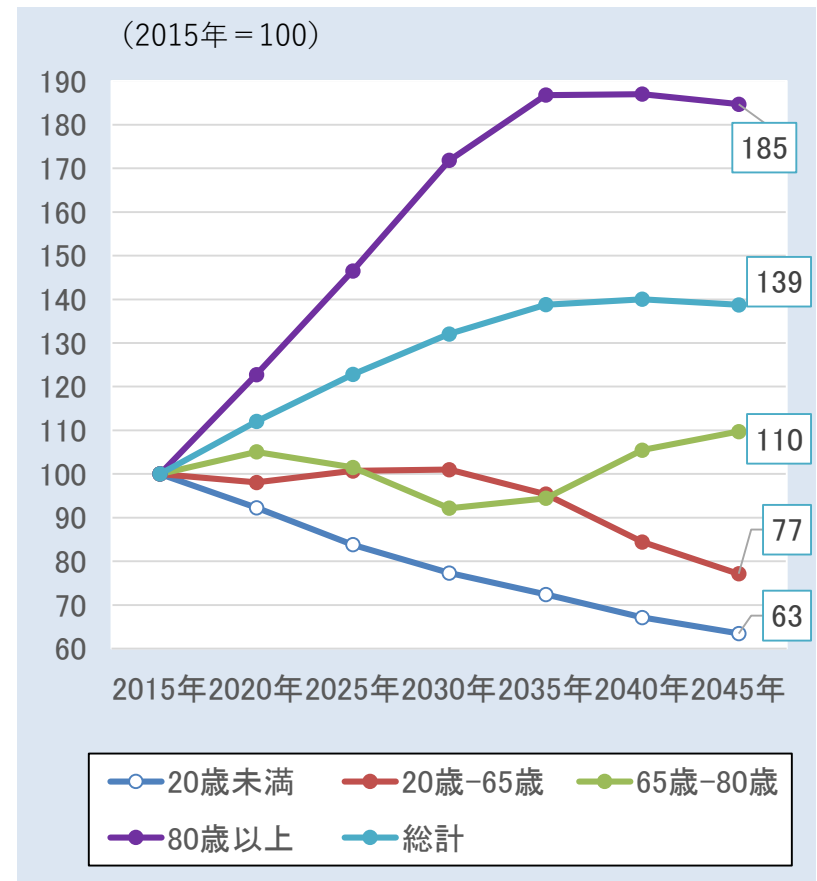
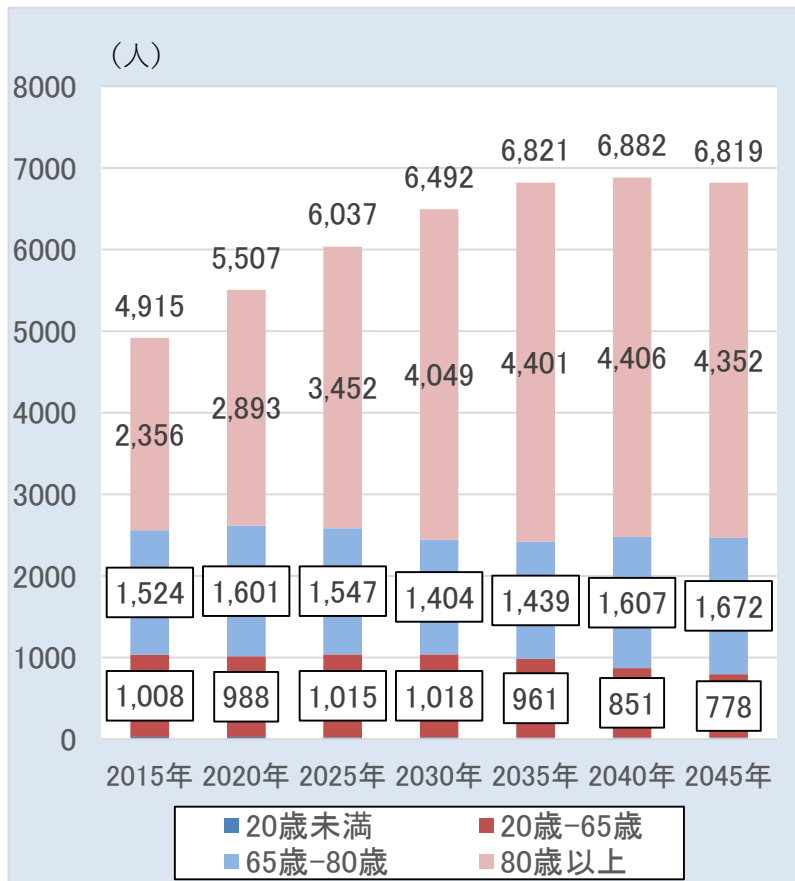
＜要介護度別認定者数＞





# 入院患者数の将来推計（年齢別）

- 2045年にかけて80歳以上の入院患者が85%増加

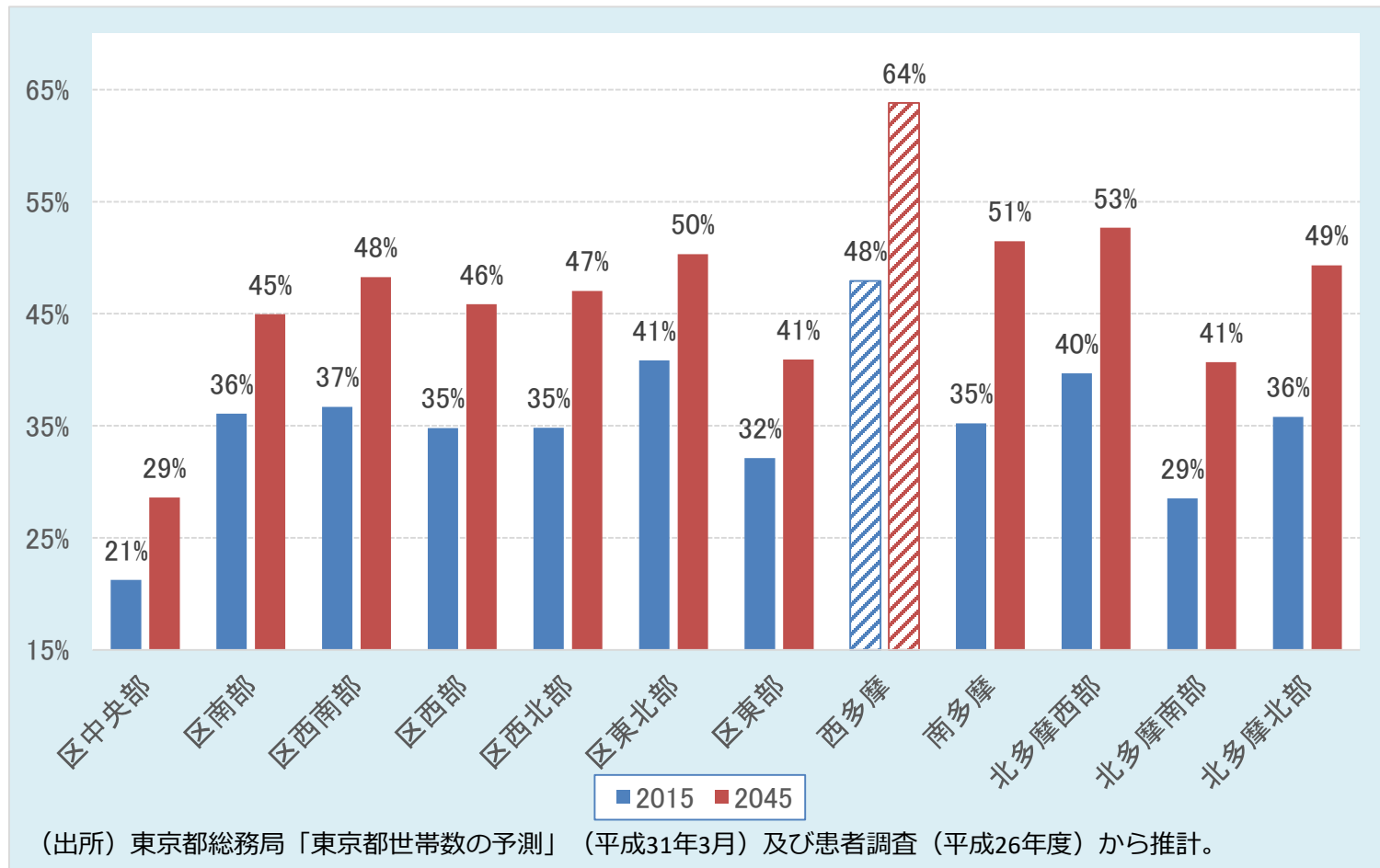


(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)及び患者調査(平成26年度)から推計。



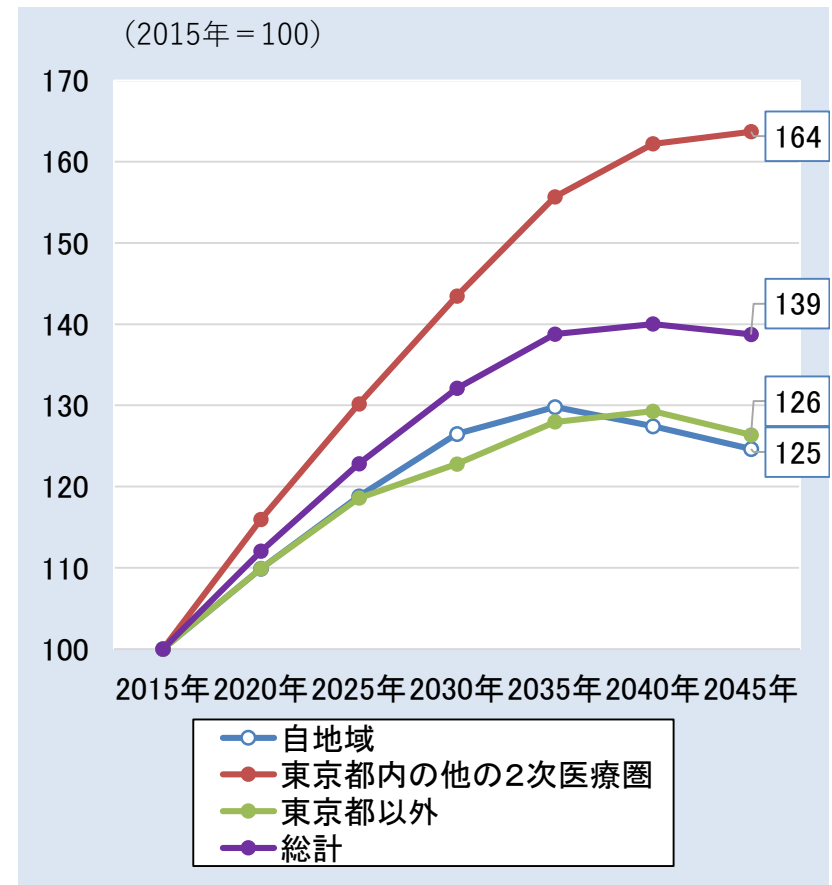
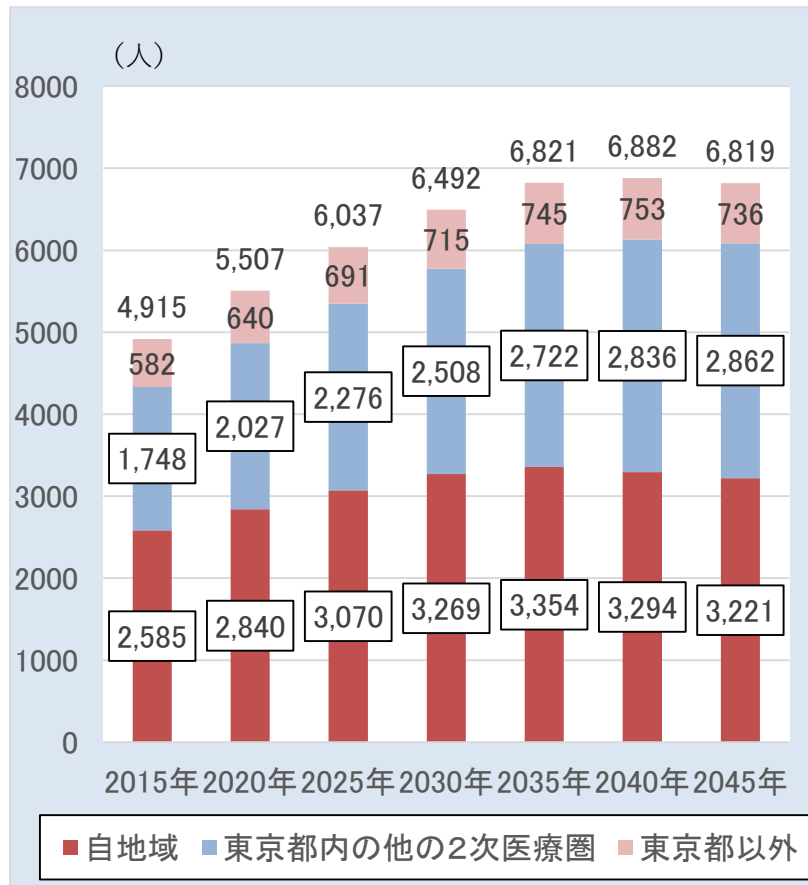
# 80歳以上の入院患者割合

- 80歳以上の入院患者割合は48%から64%へ増加



# 患者住所地別の将来推計

- 都内の他の二次医療圏からの流入が64%増加



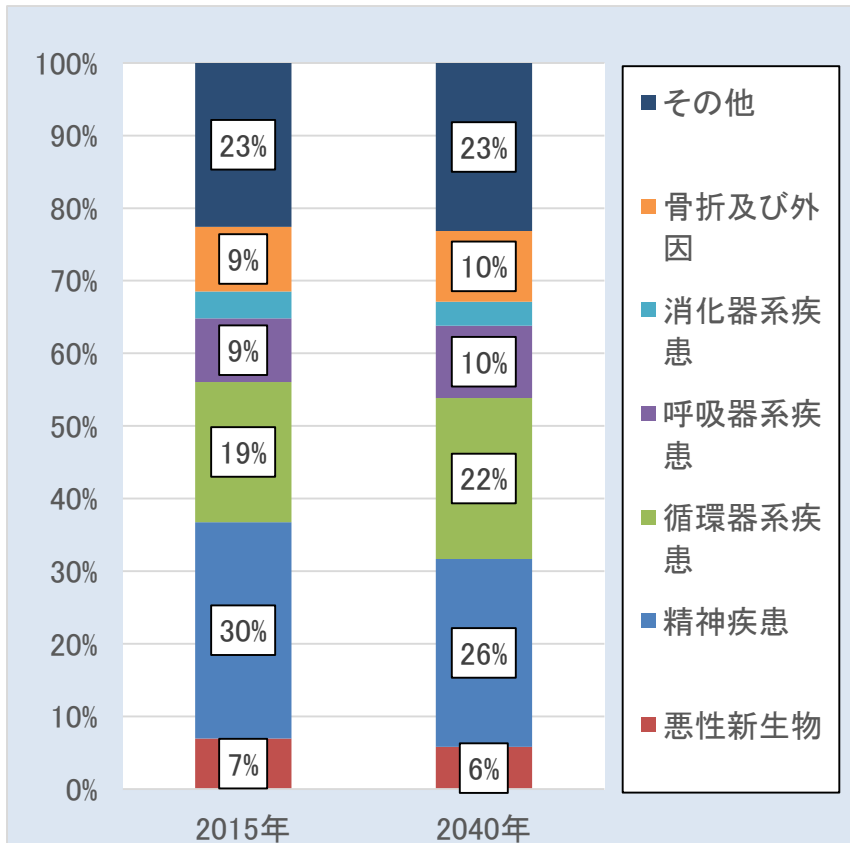
(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)及び患者調査(平成26年度)から推計。



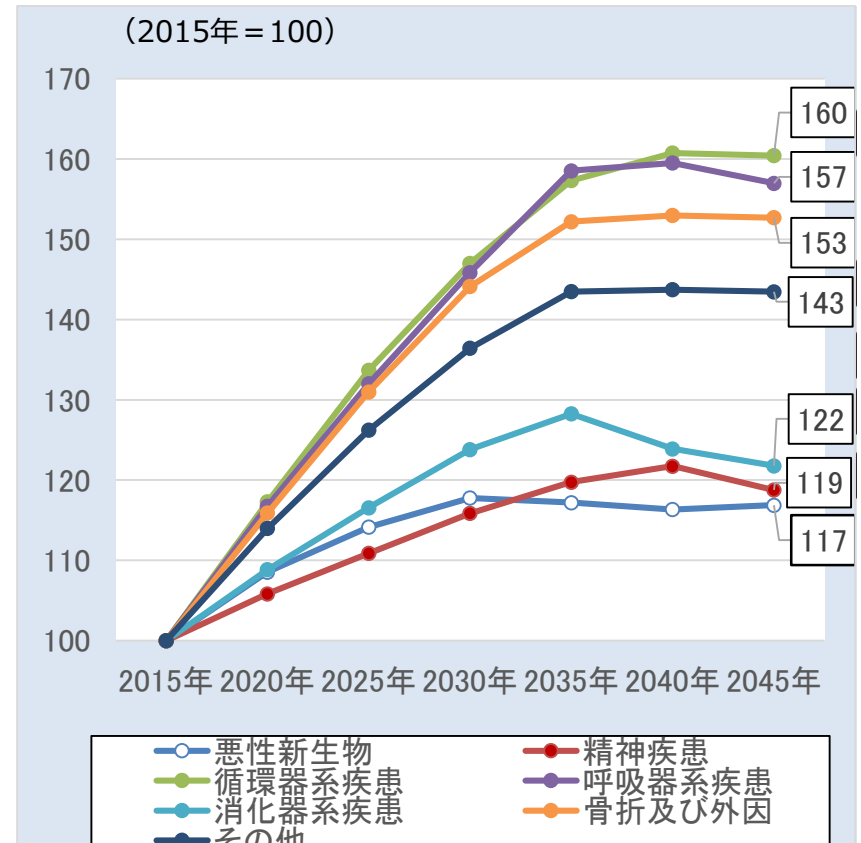
# 疾病種別の将来推計

- どの疾病でも患者数は増加
  - 精神疾患患者シェアは低下、一方、循環器・呼吸器系疾患患者シェアが上昇

＜2015年と2040年の患者シェア＞



＜疾病別入院患者数＞



(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)及び患者調査(平成26年度)から推計。





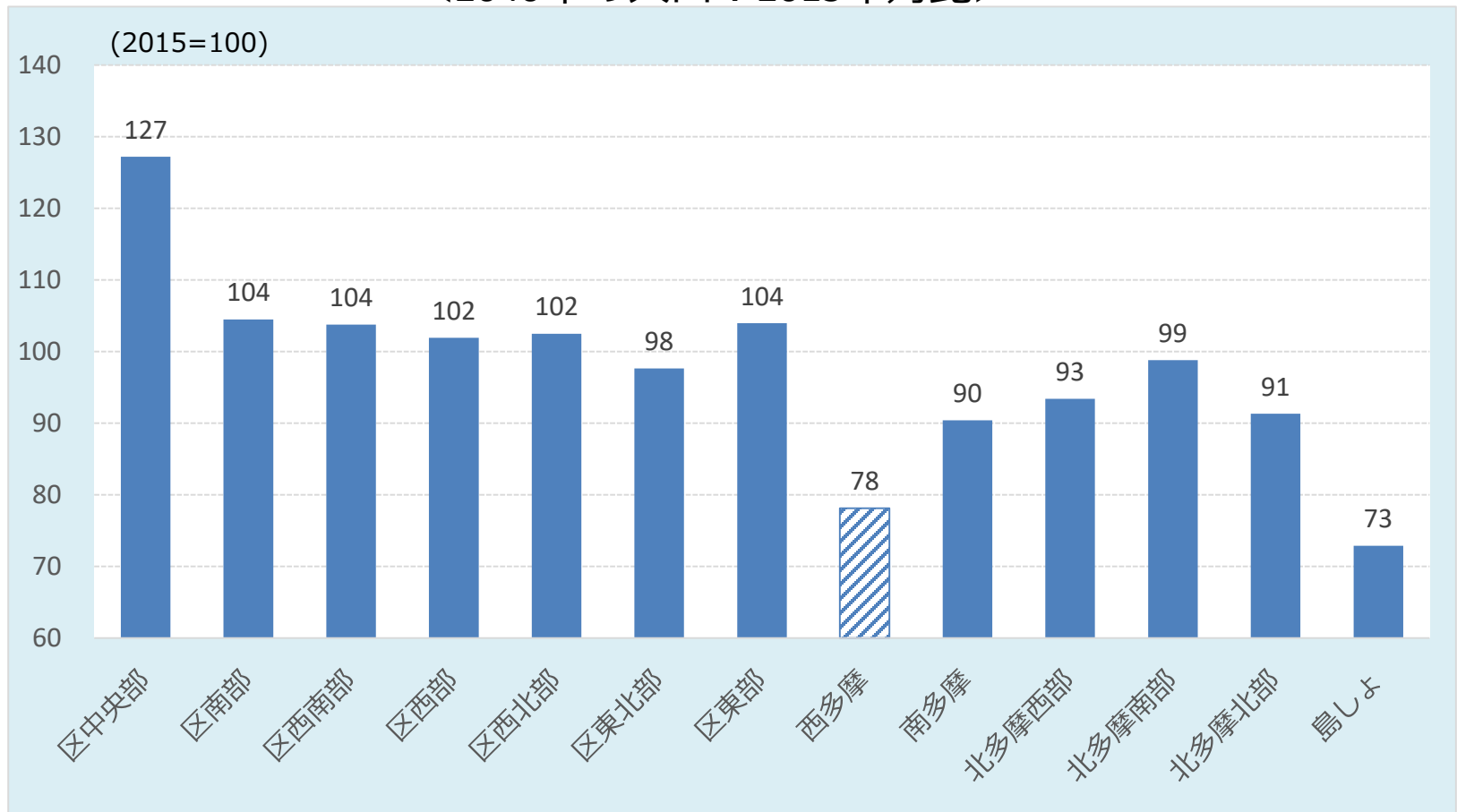
# ポイント

- 人口減・超高齢化の進展
  - 人口は39万人から31万人に減少
  - 死亡者数、90歳以上人口の増加
- 入院患者数は80歳以上で増加
  - 2045年には64%の入院患者が80歳以上
- 慢性期の患者を中心に他地域からの流入の増加
  - 都内の他の二次医療圏からの流入が64%増加
- 人口減の中での（慢性期）医療需要の増加

# 人口総数

- 他地域と比較して2015年対比で人口減少

<2040年の人口：2015年対比>



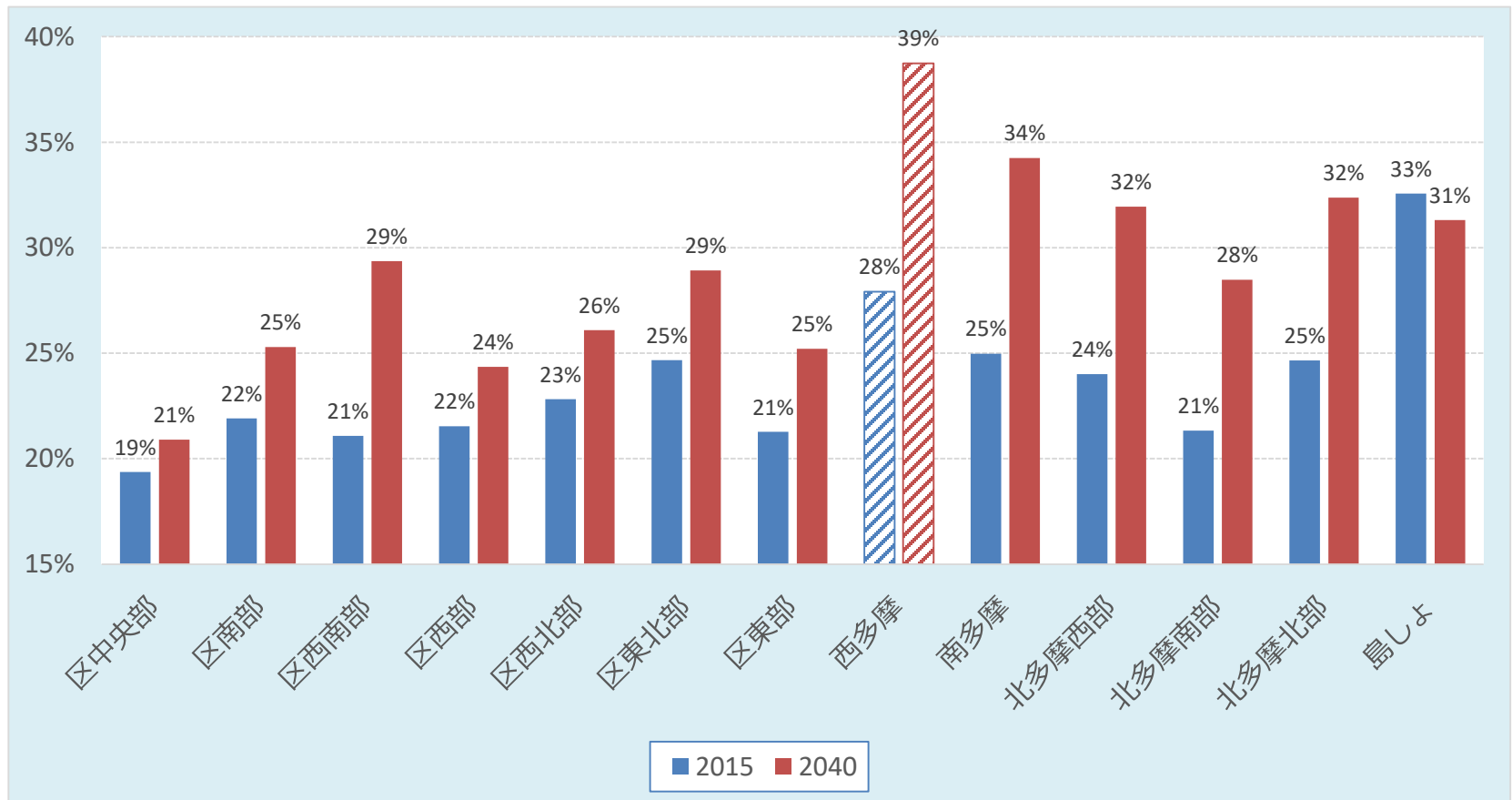
(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)



# 高齢化率

- 高齡化が他地域と比較して28%から39%へ増加

<高齡化率>

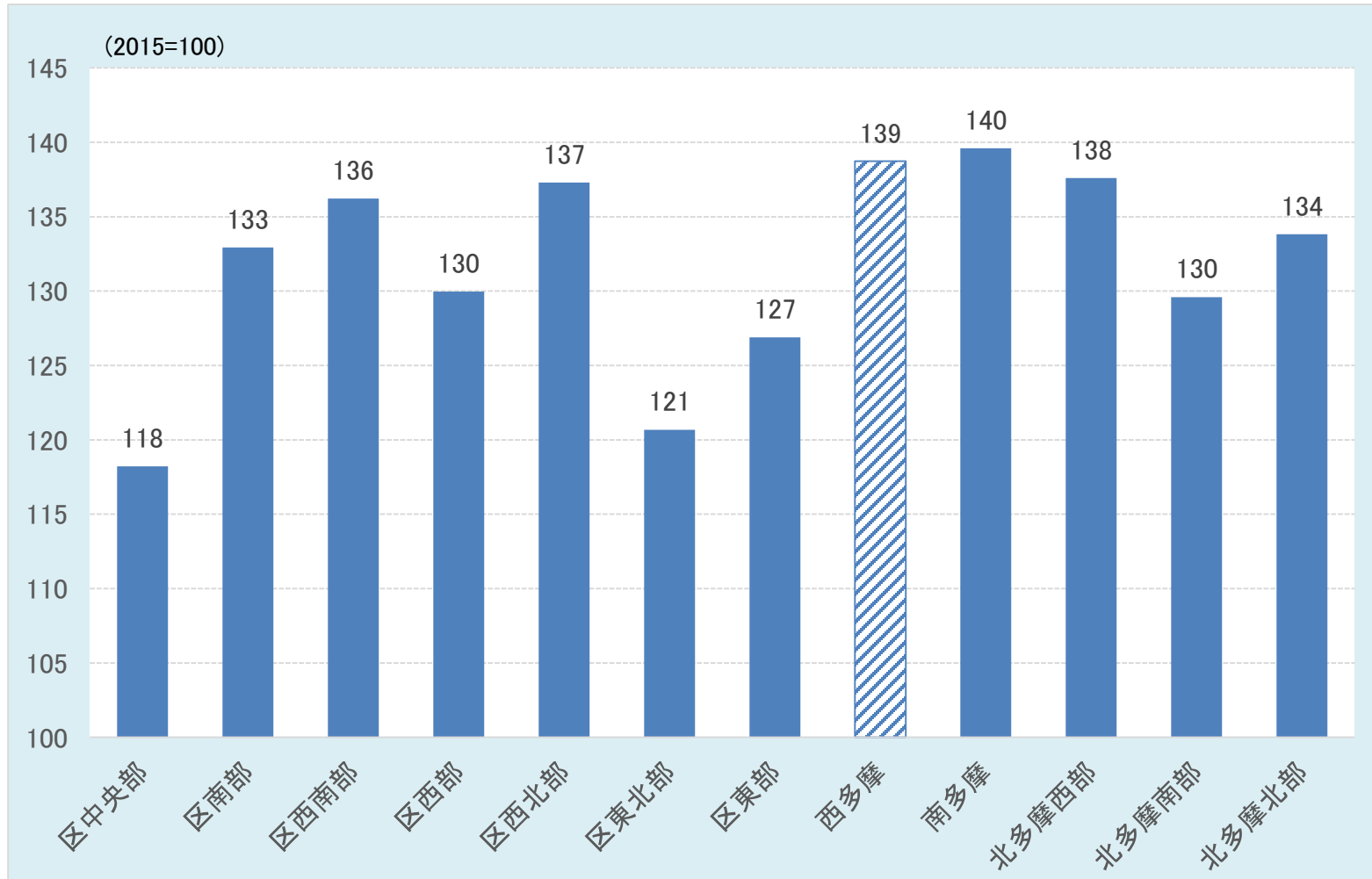


(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)



# 入院患者総数：2045年

<入院患者総数：2015年対比>



(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)及び患者調査(平成26年度)から推計。



# 入院患者数の将来推計の方法

- A) 患者調査（平成26年度）の調査票情報を用いて入院患者数を5歳階級別・患者住所地別・疾病別に推計
- 患者住所地は①推計対象となる二次医療圏、②①以外の東京都内、③他都道府県、の3種別で推計
  - 疾病はICD10をもとに7種類（e.g., 循環器、呼吸器）
  - 年齢は0~5歳など19階級
- B) Aで推計した患者数について、推計対象となる二次医療圏への流入率を推計
- $\text{流入率} = \text{推計対象となる二次医療圏への流入患者数} / \text{患者総数}$
- C) Aで推計した入院患者数を人口当たりに換算し、入院患者の発生率を年齢別に一定と仮定して将来人口推計で2045年まで延伸。
- D) Cで推計された将来にわたる入院患者数に対して、推計対象となる二次医療圏への流入率を掛け合わせて、各二次医療圏の入院患者数を算出